

<さらなる復興を願う気仙沼演奏ツアーの報告>

去る11月12日、14日取手SEを中心とする全33名によるツアーを実行し、3日間とも好天に恵まれ、予定通りに無事完結した。

メンバーは取手の10名ほか、牛久、我孫子、あすなろ、佐倉、のぞみ、君津、市川、かつしかの団員に随行者1名、先生は取手の古谷譲先生と我孫子ほかの横林歩先生。練習は10月25日から3回、取手市白山公民館で実施、皆、参加して下さり、中には往復6時間の道のりを3回も参加した方もいた。

練習は腕に覚えのある団員が多かったせいか、音がまるでオーケストラを演奏しているような立体的なムードだった。TP、HV、AXの参加は大変効果的で有難かった。

12日朝8時30分に取手市藤代庁舎に集合、8時45分に予定より早く出発。常磐高速で秋景色を楽しみながら車中のカラオケ大会が始まる。皆、音楽性が高く楽しく天国。



仙台青葉城で昼食、石巻市で児童が誘導ミスで多数犠牲になった小学校を訪問、なぜ裏の高台に早く逃げなかったのか改めて子供たちに申し訳ない気持ちでよみがえった。その後、気仙沼港を真下に眺望するホテルの海鮮料理で夕食。

2日目はいよいよ本番。会場の気仙沼市民会館は1000人収容で響きがよく、ピアノはスタンウェイ。演奏には申し分ない。お客様は100名だったが質が良く、熱心に拍手して下さいの方が多かった。

演奏は14曲だった。ビリーブ、エル・チヨクロ、愛の讃歌、古谷先生の解説司会も好評ですばらしい演奏が出来た。



アンケート調査で来春「楽しくやさしい3ヶ月の合奏講座」を開催し、SE設立に進めたいという質問には8名の方が住所氏名を書いて参加したいとの回答があり、30名の方が検討したいと回答があった。この実現には諸々の問題があるが、何とか実現したいと思っている。皆さまでのご支援を仰ぎたい。

演奏会の終了後、松島の温泉ホテルに宿泊。コロナ感染症で3年ぶりに温泉入浴を楽しむ。3日目は松島の瑞巖寺、松島、海岸観光、牛タンで昼食、かまぼこ工場を見学。手土産でいっぱいになる。

今回のツアーは昨春のハワイ旅行予定が航空費の高騰による断念から、被災地への慰問旅行に変更されたものである。

このツアーを支援して下さいた取手市、地元気仙沼の菅原市長、生涯学習課の千葉課長様、吉城主事様に厚く御礼申し上げます。それから、今回の企画、渉外、完遂に尽力した宮崎副理事長、古谷譲先生、自らのみならず指導している各団に参加者を募り、すばらしいサウンドを展開した横林歩先生に大変感謝している。(今回の団長 岡村斉能)



